

キャラクター名 ビリオ・オーラフ	プレイヤー名
---------------------	--------

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	10
サポートクラス	ファランクス	Lv.1:	ファランクス	性別	男
称号クラス				年齢	84
種族	ネヴァーフ			境遇	紛失
出自 (効果)	冒険者			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運	
基本値	21	15	8	9	12	12	12	
ボーナス	7	5	2	3	4	4	4	
クラス修正	2	2	1	1	0	0	0	
他修正								
能力値	9	7	3	4	4	4	4	

HP	120
MP	68
フェイト	4

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ヘビーメイス	至近	-1	6	0	0	0	0	0
左手	カイトシールド		0	0	0	4	0	0	0
頭部									
胴部	スーツアーマー				-2	10	0		
補助	ポイントアーマー				-1	3			
装身具	手入れ道具								
能力値			7	0	3	0	4	7	14
スキル	アイアンアームド+アダマント					6	6		
その他									
総計(右)			6	6					
総計(左)			7	0	0	23	10	7	14
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4	1	5	+ 3 d
トラップ解除	7	1	8	+ 3 d
危険感知	4	1	5	+ 3 d
エネミー識別	4		4	+ 2 d
アイテム鑑定	4		4	+ 2 d
魔術判定				+ d
呪歌判定				+ d
錬金術判定				+ d

現在重量：	10		
最大重量：	42	所持金：	9
		預金・借金：	

所持品	
冒険者セット	
釣り竿	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アダマント	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	作成時に物理防御力+3							
バッシュ	1	4	メジャー	武器	単体	命中	-	
効果：	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
アーマーアダプト	5	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	装備している防具一つにつき攻撃のダメージ+SL。装備部位：全身の場合はふたつの防具として扱う。							
カバーリング	★	2	DR直前	至近	単体	自動成功	防衛中1回	
効果：	対象にカバーを行う。							
カバームーブ	3	4	《カバーリング》	-	自身	自動成功	SL/シーン	
効果：	カバーリングの射程を20mに変更する。							
シールドワーク	★	-	パッシブ	-	自身	-	盾装備	
効果：	0未満の盾の行動値修正を±0に変更する。							
アイアンカバー	3	2	《カバーリング》	-	自身	自動成功	SL/シーン	
効果：	カバーリングの際に【物防・魔防】に選択した防具の重量							
ストップガード	5	7	リアクション	-	自身	自動成功	全身装備	
効果：	ダメージ軽減。その攻撃であなたが受けるダメージ-「(SL)D」する。攻撃はあなたに自動命中する。							
アームズマスタリー：鈍器	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	命中判定+1D							
ディフェンダー	5	3	マイナー	-	自身	自動成功	-	
効果：	【物防】+[SL*3]							
アイアンスピリット	★	6	《カバーリング》	-	自身	自動成功	全身装備	
効果：	《カバーリング》によるカバーではバッドステータスを受けない。							
ディフェンスマスター	3	-	効果参照	-	自身	自動成功	全身装備防衛中1回	
効果：	ダメージ軽減効果+[SL*2]							
アイアンアームド	3	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	【物防】+SL、【魔防】+[SL*2]。防具重量合計12以上必要。							
アスレチック	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	登攀・跳躍の筋力判定+1D							
リムーブトラップ	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	トラップ解除+1D							

出自
「何度も死に、何度も篝火で復活している」1d6*10の好感度がポイント

所持キーワード
(天) :
(上) :
(中) :
(下) : 「坑道?」「助け舟(2)」
(地) :

かつて弟のベリオ・オーラフとコンビで冒険者として活動していた、ドワーフの重装戦士。鉄壁の兄「ベリオ」と怪力の弟「ベリオ」の息の合った連携攻撃で数々の冒険をこなしていた。ある時、不運にも強大な敵との戦闘で弟ベリオが死亡してしまう。ベリオ自身も致命傷を受け、意識を喪失したのだが…次に彼が目覚めると、見慣れない篝火が目の前にあった。それ以来、彼は彷徨い続けている。死に別れた弟か、自身の死に場所を求めてか。彼は黙して語らない。

